

2021年10月25日

需要家 各位

写) 登録販売店 各位

東京地区生コンクリート協同組合
営業部・技術部

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は弊協組事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、

生コンクリート納入時における安全について

弊協組の事業活動は、適正な価格で高品質な生コンを安定的に供給することで、顧客を始めとする関係者皆様の信頼を得られるものと考えています。当然のことながら、安全面にも配慮していますが、もし事故が発生した場合には、当事者や生コン工場のみならず現場や周辺の方にまで影響が及ぶ可能性があり、これを予防することは協組活動における重要な職務と考えています。

今般、直近の5年間において組合員工場から報告のあった、生コンクリート納入の際に発生した事故や、事故に繋がりにかねない事例について取りまとめました。

運転手の不注意による事故などにつきましては、改めて組合員工場に対して安全について周知徹底をいたします。

一方で、運転手以外の者がアジテータ車操作を行う場合や上部からの落下物など、工場に対応できない事例もいくつかありましたので、是非とも現場にてご注意・ご対応いただきたくお願い申し上げます。

生コンクリートを製造・販売する立場から気付きましたことを需要家様にお知らせするとともに、現場における事故防止の一助になればと考えます。

需要家様におかれましては、是非ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

敬具

納入時における安全に係わる組員からの報告（直近5年間の抜粋）

要点	報告時期	事案
ポンプ車ホッパーからの飛散	2017年9月 他	納入完了後に運転手がシュート掃きを行っていたところ、ポンプ車ホッパー内のコンクリートが突然、周囲に飛散した。ホッパー内のレベルセンサーが作動せず、逆流・飛散したと推察する。（ホッパー内の生コン残量にご注意願いたい）
不安全操作	2018年3月 他4件	杭業者がレバーを操作する際に指をシュートに挟み被災した事例や、バック移動中にレバーを操作してドラムを高速回転しようとする事例がある。 （基本的にレバー操作は運転手にお任せいただきたい）
		杭業者による外部レバーの勝手な操作で、キャビン内のレバーが予期せぬタイミングで動き、運転手の怪我につながりかねない状況が時々ある。また、誤操作でドラム内に注水した事例があった。 （基本的にレバー操作は運転手にお任せいただきたい）
誤認識・要請	2019年11月 他1件	荷卸しを杭業者が行うケースで、ドラムを高速で逆回転させ1~2分で荷卸し完了にする事例がある。特に荷卸し場所がスロープ上で車輛後部上がりの場合、かなりの量のコンクリートがドラム内に残ったまま荷卸し完了になることが多い。 （基本的にレバー操作は運転手にお任せいただきたい）
		杭工事の際に現場の要請により、運転手が荷卸し完了までキャビンに待機状態となる事例がある。このような現場では、Vシュート内やグリッド周りの確認もできずに作業所外に出されることが多い。万が一、走行中に付着物が水受けに落下すると道路等への飛散する危険性が考えられる。 （現場内に洗い場を設置願いたい）
現場上部からの落下物	2019年2月 他5件	荷卸し中に、納入場所上部階から溶断スラグが落下し、運転手の顔や髪の毛に当たる事例が発生した。また、現場内移動時や待機中の車輛に当たり、フロントガラスやボディの塗装が溶ける被害が出た事例もあった。（上下作業にご注意願いたい）
		荷卸し中に、現場上部からラチェットレンチが落下してきた。幸いにも、運転手や納入車輛に直撃することはなかった。（上下作業にご注意願いたい）
接触事故	2020年12月 他	ポンプ車に付けるためバックした際、車体後部左バンパー部を鉄製の箱に接触させ、近くに設置されていたアルミ製足場台及び鉄パイプ製の可動式ゲートの足（プラスチック製）を破損させた。（再発防止徹底中）
運転手の不注意 （発進・停車時）	2021年5月	現場内で洗車していた際に移動指示を受け、慌てた運転手が輪止めを外し忘れてそのまま発進した。輪止め間をロープ連結していなかったために1つが飛び、近くにいた立会者の手の甲にあたった。（再発防止徹底中）
	2021年6月	現場打設位置に停車して輪止めを掛けようと運転手が降車したところ、サイドブレーキが引かれておらず、傾斜に沿って車輛が後方に動き出した。後方で作業中の作業員が、バンパーとトレミー管支持台の間に太腿を挟まれ負傷された。 （再発防止徹底中）